

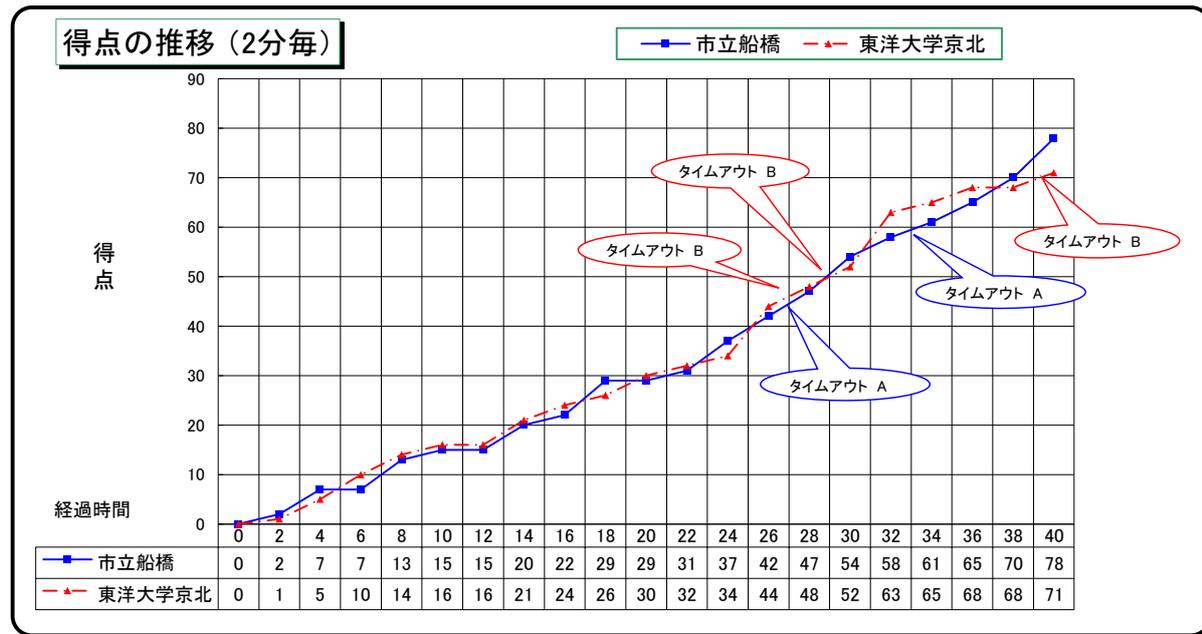
平成27年度 関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第69回 関東高等学校男子バスケットボール選手権大会 ＜1回戦＞

平成27年 5月30日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Bコート	第3試合 12:00～	
<チームA> 市立船橋 千葉		78 { 15 1Q 16 14 2Q 14 25 3Q 22 24 4Q 19 } 71		<チームB> 東洋大学京北 東京	
主審: 山田 健一(茨城) 副審: 土田 康隆(茨城)					

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	平良 彰吾	17		8	1	4
○	5	田村 伊織	2		1		2
○	6	野永 隆介	5	1	1		2
◎	7	白井 虎太郎	7		3	1	2
◎	8	越川 和紀	15	2	2	5	3
◎	9	邱 文昊	1			1	5
○	10	須田 恵哉	6	1	1	1	
○	11	菅原 幸人	16	1	6	1	
○	12	赤川 建斗					
○	13	野崎 由之	3		1	1	
◎	14	赤穂 雷太	6		2	2	
	15	庄司 理宇					
	16	保泉 遼					
	17	相川 大和					
	18	石塚 周太					
		コーチ 近藤 義行					
合計			78	5	25	13	18

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	小林 汰雅	20	3	5	1	1
◎	5	福元 偉	18	4	3		1
◎	6	天利 優介	4		2		4
◎	7	テープス 海	19	1	6	4	4
○	8	市原 大河	5		1	3	3
	9	白鳥 拓土					
◎	10	茨城 博晃	5		2	1	1
	11	佐藤 拓海					
	12	高橋 紘平					
	13	李 玟霖					
	14	山来 亮太					
	15	芦澤 俊亮					
	16	森田 崇暉					
	17	千葉 安我士					
	18	鋤持 敬祐					
		コーチ 田渡 優					
合計			71	8	19	9	14

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦評 記入者: 中村 洋蔵

第1P、船橋市立船橋高校(以下市船)、東洋大学京北(以下京北)ともにマンツーマンディフェンス。市船は、アウトサイドシュートを中心の攻撃。京北は⑦テープスのドライブインからのシュートやパスに合わせて得点し、両チーム譲らない展開が続く。8分が経過したところで京北がディフェンスから④小林、⑧市原の速攻を連発し、15-16で京北リードで第1P終了。

第2P、京北の④小林が点を決めれば市船④平良が決め返す展開で、一進一退の攻防が続く。きっかけがほしい京北は、残り3分と1分にタイムアウトを取りチャンスをつかおうと⑦テープスにボールを集め、ドライブインからファウルを誘いフリースローで得点する。市船は終盤ハーフコートゾーンで中を固めるが、京北はうまく攻略し30-29で第2P終了。

第3P、市船は⑪菅原が3pやオフェンスリバウンドで得点すると、京北が⑤福元の3pや④小林のバスケットカウントなどで5点リードする。市船は、終盤ファウルトラブルで市船にフリースローを与えてしまうがプレスディフェンスからチャンスをつくり54-52市船リードで第3P終了。

第4P序盤、市船は⑩邱が5ファウルで退場する他、京北が連続ドライブインを成功させるなどして、65-58と一気に7点のリードを許す。市船がかさずタイムアウト。ハーフコートゾーンを修正し、市船⑭赤穂のインサイド、⑩須田の速攻、④平良の3pで68-68の同点にする。京北は、④小林の3p、⑤福元の3pで71-70と残り1分25秒で1点リード。市船はオールコートゾーンプレスを連続で仕掛ける中、市船④平良の速攻、さらには⑩須田のタップシュートで一気の流れを引き寄せた。更に市船⑧越川の速攻でバスケットカウントフリースロー。残り25秒で74-71市船リード。京北は望みを掛けタイムアウト。市船のフリースローは外れたが、リバウンドは市船が取り、京北がファウルゲームを仕掛ける。市船はフリースローを確実に沈め、78-71で市船勝利。40分間、目が離せない好ゲームであった。